熊本学園大学付属海外事情研究所 2018年度第2回研究会

天皇陛下の生前退位をめぐって

－比較憲法の視点から－

日　時：２０１８年１２月８日（土）

１３：００～１５：００

参加無料

会　場：熊本学園大学 本館3階 特別会議室

講　師：岡田 順太（おかだ じゅんた）　氏（白鷗大学 法学部 教授 ）

<プロフィール>

2004年慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学/博士（法学）。 東北文化学園大学総合政策学部専任講師を経て、現在、白鷗大学法学部教授（憲法）、法政策研究所長。主著『関係性の憲法理論―現代市民社会と結社の自由』（丸善プラネット）、共著『変容するテロリズムと法―各国における〈自由と安全〉法制の動向』（弘文堂）など。筑波大学、千葉大学、慶應義塾大学、警察大学校などの非常勤講師。鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター研究協力員、地方公務員研修講師（仙台市職員研修所、東北自治研修所）、栃木県小山市消費生活条例検討懇話会委員、宮城県名取市情報公開審査会委員（会長職務代理者）など歴任。地域貢献活動やメディアへの寄稿も多数。

平成31年4月30日に改元が行われることが閣議決定された。しかし、皇室が直面している問題について、踏み込んだ議論がなされたわけではない。この背景には、憲法改正をめぐる動きや皇室のあり方に関する議論が横たわっているからである。そこで、本研究会では、天皇陛下の生前退位をめぐる憲法上の論点について、イギリスやタイなど、君主が存在する国の憲法との比較から再検討していただく。

参加ご希望の方は、下記までFAXまたはEmailのどちらかにより事前の申込みをお願いいたします。

申し込みの際は、ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記ください。

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

＜申し込み・問い合わせ先＞

熊本学園大学付属海外事情研究所（担当：学術文化課）

月～金　8：45～17：15（12：30～13：30除く）

Email：kaigai@kumagaku.ac.jp　/　FAX：096-364-5201（専用）

〒862-8680　熊本市中央区大江2-5-1　TEL：096-364-8731（直通）